

製品名 : EzRun TAE
会社名 : アトー株式会社
管理番号 : A0044

作成日 : 2014/08/15
改定日 : 2022/05/20

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : EzRun TAE
製品コード : WSE-7050

会社情報

会社名 : アトー株式会社
住所 : 111-0041 東京都台東区元浅草 3-2-2
担当部門 : 本社 顧客部
電話番号 : 03-5827-4861
ファックス番号 : 03-5827-6647
緊急連絡先 : 03-5827-4871
使用用途 : 試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 :

引火性液体 : 区分 3
皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

GHS ラベル要素 : 危険



危険有害性情報

H226- 引火性液体および蒸気
H314 - 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H318 - 重篤な眼の損傷

製品名：EzRun TAE
会社名：アトー株式会社
管理番号：A0044

作成日：2014/08/15
改定日：2022/05/20

注意書き：

[安全対策]

- ・ 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・ 取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。
- ・ 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用する。
- ・ この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。
- ・ 熱、火花、裸火、熱い面から離して保管すること-禁煙。
- ・ 容器は密閉して保管。
- ・ 耐爆電気/換気/照明/機器を使用すること。
- ・ 火花の出ない道具のみ使用すること。
- ・ 静電放電に対し、予防措置を講ずること。

[応急措置]

- ・ ただちに医師に連絡すること。
- ・ 眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
- ・ ただちに医師に連絡すること。
- ・ 体調がすぐれない場合、毒物管理センター、医師に連絡すること。
- ・ 再使用前に汚染された衣服を洗う。
- ・ 皮膚または髪に付着した場合、汚染されたすべての衣服をすぐに脱ぎ、水やシャワーで皮膚を洗うこと。
- ・ 吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸が楽な姿勢で休憩させる。
- ・ ただちに医師に連絡すること。
- ・ 飲み込んだ場合、水を飲んでください。ただし、吐かないでください。

[保管]

- ・ 施錠して保管。
- ・ よく換気された冷所で保管。

[廃棄]

- ・ 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

製品名：EzRun TAE
 会社名：アトー株式会社
 管理番号：A0044

作成日：2014/08/15
 改定日：2022/05/20

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

| 成分 | 含有量(%) | 化学式 | 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) | CAS No. |
|----|--------|----------------------|-----------------------|---------|
| 酢酸 | 6.0% | CH ₃ COOH | (2)-688 | 64-19-7 |

4. 応急措置

- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移すこと。医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。医師に連絡すること。
 眼に入った場合：眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。
 もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。
 その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。
 ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
- 応急処置をする者の保護：個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤：水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素 (CO₂)、泡、粉末消火剤、砂
- 使ってはならない消火剤：利用可能な情報はない
- 特有の消火方法：利用可能な情報はない
- 火災時の特有危険有害性：熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
- 消火を行なう者の保護：個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 ：発火源を除くこと。安全な場所に退避させること。とくに密閉された場所では、十分な換気を行う。漏出した物質に手を触れたり、その間を歩いたりしないこと。
- 環境に対する注意事項
 ：漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

製品名：EzRun TAE
会社名：アトー株式会社
管理番号：A0044

作成日：2014/08/15
改定日：2022/05/20

封じ込め及び浄化の方法及び機材

：乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。残りは、大量の水で洗い流す。

回収、中和

：利用可能な情報はない

二次災害の防止策

：環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

：火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。
局所排気装置を使用すること。

注意事項

：容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

：とくに密閉された場所では、十分な換気を行う。熱、火花、炎、ほかの発火源から離して保管すること（例：種火、電気モーター、静電気など）。静電放電に対し、予防措置を講ずること。火花防止具や耐爆備品を使用すること。製品を扱うときに使用するすべての備品は接地の必要がある。眼との接触を避ける。

保管

安全な保管条件

：保管条件直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料

：ガラス

混触禁止物質

：強酸化剤、塩基類、金属類

製品名：EzRun TAE
 会社名：アトー株式会社
 管理番号：A0044

作成日：2014/08/15
 改定日：2022/05/20

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度

：作業環境評価基準設定されていない。

保護具

| | |
|------------|-------------------------------|
| ：呼吸器用保護具 | 防毒マスク |
| 手の保護具 | 保護手袋 |
| 眼の保護具 | 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡） |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な保護衣を着用すること。保護長靴 |

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

| | |
|----|----------|
| 形状 | ：液体 |
| 色 | ：透明 |
| 臭い | ：特有臭 |
| pH | ：7.5-8.5 |

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

| | |
|------|--------|
| 沸点 | ：データなし |
| 沸騰範囲 | ：データなし |
| 融点 | ：データなし |
| 引火点 | ：データなし |
| 発火点 | ：データなし |
| 爆発特性 | ：データなし |
| 蒸気圧 | ：データなし |
| 蒸気密度 | ：データなし |
| 密度 | ：データなし |

溶解性

| | |
|--------------|--------|
| 溶媒に対する溶解性 | ：データなし |
| オクタノール/水分配係数 | ：データなし |
| その他データ | ：なし |

製品名：EzRun TAE
 会社名：アトー株式会社
 管理番号：A0044

作成日：2014/08/15
 改定日：2022/05/20

10. 安定性及び反応性

安定性

推奨保管条件下で安定。

反応性データなし

危険有害反応可能性

塩基と反応する。金属類を腐食する。

避けるべき条件

熱、炎、火花、高温と直射日光、静電気、スパーク

混触危険物質

強酸化剤、塩基類、金属類

危険有害な分解生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

11. 有害性情報

酢酸 CAS No.64-19-7

急性毒性 (経口)：ラットの LD₅₀ 値=3310、3530 mg/kg (PATTY (5th, 2001))

急性毒性 (経皮)：ウサギの LD₅₀ 値=1060 mg/kg (PATTY (5th, 2001))

急性毒性 (吸入：ガス)：分類対象外

急性毒性 (吸入：蒸気)：ラットの LCLo=16000 ppm(PATTY (5th, 2001))は区分 4 あるいは区分外に相当することから分類できないとした。なお、飽和蒸気圧濃度の 90% (20394.7ppmV * 0.90 = 18355ppmV) より低いので、分類にはガスの基準値を適用した。

急性毒性 (吸入：粉塵、ミスト)：データがないので分類できない。

皮膚腐食性・刺激性 :ウサギあるいはモルモットを用いた試験(PATTY (5th, 2001)、ACGIH (2004))において、刺激性の程度はばく露の濃度と時間に依存し、特に 50~80%以上の濃度では重度の熱傷と痂皮形成が観察されている。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

:ウサギ眼に氷酢酸を適用直後に破壊的損傷を生じた (ACGIH (2004)) こと、別の試験で 10%以上の濃度で永続的角膜損傷を伴う重度の刺激性を示した (IUCLID (2000)) こと、ヒトで誤って眼に入れてしまった後直ちに洗浄したにも拘らず角膜混濁や虹彩炎を起し、上皮の再生に何ヶ月も要し特に角膜混濁は永続的であったとの症例報告 (PATTY (5th, 2001)) もある。

製品名：EzRun TAE
会社名：アトー株式会社
管理番号：A0044

作成日：2014/08/15
改定日：2022/05/20

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 : 分類できない
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性、単回暴露

ヒトで氷酢酸または大量の酢酸を摂取後、播種性血管内凝固障害、重度の溶血、虚血性腎不全を起こした症例報告が複数ある (PATTY (5th, 2001)、ACGIH (2004))。また、ヒトで吸入暴露による鼻、上気道、肺に対する刺激性の記載 (PATTY (5th, 2001))、「ヒトが蒸気を吸入すると気道腐食性、肺水腫が見られることがある」との記述 (ICSC(J) (1997))がある。

特定標的臓器・全身毒性、反復暴露

:ラットに3%の被験物質を6ヶ月間胃内投与した試験で食道粘膜の慢性炎症がみられ (PATTY (5th, 2001))、また、職業ばく露により、労働者が胸焼けや便秘などの消化器症状の訴え (PATTY (5th, 2001))、また、女性労働者117人の横断研究においてばく露を受けた労働者が対照に比べ慢性咳嗽、胸部ひっ迫、鼻カタル、副鼻腔炎の有病率が有意に高かったとの報告 (ACGIH (2004))もあるが、いずれもデータ不足で分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性) : 甲殻類(オオミジンコ)での48時間 EC50 = 65000 μ g/L (AQUIRE, 2010)。
水生環境有害性 (慢性) : 急速分解性があり (BODによる分解度: 74% (既存点検, 1993))、かつ生物蓄積性が低いと推定される (log Kow = -0.17 (PHYSPROP Database, 2009))ことから、区分外とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器・包装 : 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

製品名：EzRun TAE
会社名：アトー株式会社
管理番号：A0044

作成日：2014/08/15
改定日：2022/05/20

14. 輸送上の注意

国連分類 : 非該当

国連番号 : 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。
転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適応法令

化学物質管理促進法 : 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号) No176
腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

化審法 : 非該当

消防法 : 危険物第四類第二石油類危険等級Ⅲ

水質汚濁防止法 : 非該当

危険物船舶運送及び貯蔵規則: 腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法 : 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

海洋汚染防止法 : 非該当

火薬取締法 : 非該当

高圧ガス保安法 : 非該当

16. その他

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施してください。また、当社は、SDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。